

株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

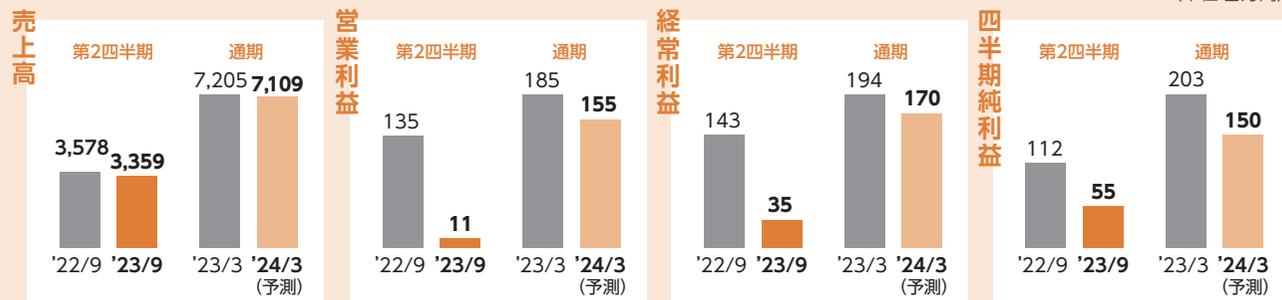
第54期 中間報告書 | 2023.4.1 ▶ 2023.9.30

特集

やわらか保護カバーが
IoT社会に貢献します



第54期 第2四半期 連結財務ハイライト



ごあいさつ

「新しいカタチ」にむかって、 スピードを早めながら駆け抜けてまいります。

上期の事業環境は、社会経済活動の正常化が進んだことから需要が回復基調になりました。一方、新型コロナウイルスの影響が終息傾向にあるものの、流通在庫の調整が長引いていることが影響し、中でも自動車向け製品の受注が想定を下回ったため、売上高や利益指標の一部で目標を下回る実績となりました。足元の下期は、概ね調整が一巡したことから、ほとんどの製品の受注が回復し、通期の業績は当初計画通りに達成できる見通しになってきました。これからも、お客様と共創する関係を強化して未来社会につながる新たな取り組みに積極的に参画できるよう行動してまいります。

第14次三か年中期経営計画の初年度である今期は、「駆け抜ける」をスローガンとして、AR-2030VISIONに掲げる「新しいカタチ」を目指しながら、お客様との共販活動や産学連携による事業製品の創出など、出口をつ

かむ活動に対して果敢に挑戦し続けています。特に下期は、お客様をお待たせしない、将来に向けて投資する、協力的な活動で前進する、新たな知恵を手に入れる、という4つをテーマとしています。すべてに共通するのは人材を活かすことです。当社で働くすべての方々が「新しいカタチ」でも個性が発揮できる環境をつくり、適正な評価のもと、みんなで良い会社に育てられるようさらに成長していただく体制を描くことが、事業価値を高めるための取り組み続ける私の使命だと考えています。

代表取締役社長

渡邊 陽一郎



やわらか保護カバーがIoT社会に貢献します

通信技術が発達した現在の情報社会では、生活の様々な場面でセンサやタグが取り入れられ、その市場は日々拡大しています。そのような通信技術を扱う業界から注目を浴び始めたゴム製の筐体「やわらか保護カバー」。
当社独自の技術を使った製品でお客様のニーズにお応えしてまいります。

やわらか保護カバー
を使うと、
屋外用途にも
使えます!

※写真はイメージです



やわらか
保護カバー
RFIDタグ



曲げて
使用すること
可能!

工事現場などで使用する防音ネットや足場といった屋外向け資材の管理などに適しています。

やわらか保護カバーの特徴

今までは樹脂製のケースで通信デバイスを覆っていましたが、水やホコリの多い環境では使用制限が多くありました。朝日ラバーでは、独自の分子接着接合技術*を利用しゴム製のカバーで通信デバイスを覆うことによって、水やホコリの多い環境でも使用することができます。また、ゴムならではのフレキシビリティや紫外線に強いという素材特性も大きな特長です。

*分子接着接合技術とは、接着剤を使用せず接着させる物質の表面を加工して化学反応(共有結合)により貼り合わせる独自の接着方法で、接着剤を用いた貼り合わせに比べ経年による接着力の劣化がありません。

透明のゴムによって、保護しながらソーラーによる発電でデータ送信が可能!

やわらか
保護カバー
EnOcean
デバイス



LPWAの通信領域のうちEnOceanの通信帯を利用し、温度などを測定しそのデータを通信するデバイスです。動かすための電力は全てソーラーパネルで発電した電気を使用しています。

KEYWORD

無線通信規格

無線通信規格はWi-FiやBluetoothなど日常で使用するものが多いことや、RFIDやLPWAのように倉庫や大規模施設での管理等に役立つものなど、その種類は様々です。それらの通信規格は、「通信距離」と「通信速度・消費電力」によって右図のような位置づけとなります。

主な無線通信規格の分布

大消費電力
通信速度
遅



どの通信規格にも対応可能です

「やわらか保護カバー」は、すべての通信規格でお使いいただくことができます。どのような環境で使用したいか、どのようなデバイスを保護したいかをお伺いし、条件にマッチした最適な保護カバーをご提案しています。

INTERVIEW

担当者インタビュー

営業担当より

営業本部営業3部長
佐藤 成樹



無線通信の規格について教えてください。

IoT市場では「省電力で」情報を常に収集・管理できるかが大事で、Wi-Fiのような大容量の通信は必要なく、ローパワーで通信できる通信帯のLPWAなどが主体になる動きがあります。当社もLPWAなどの領域を意識して活動していきたいですね。ただ、Wi-Fiやモバイル通信などの領域をやらないわけではなく、すべての通信領域からの依頼に対応していきます。

LPWA領域の中でもたくさんの通信規格がありますが、どのようにアプローチしていきますか?

LoRaWANやEnOceanのように様々な種類がありますが、できるだけ広い範囲でやわらか保護カバーの価値を見出したいです。お付き合いする企業はソフトやキャリアなど種類を問わず幅広く関わることで、LPWA領域全体をカバーしたいと考えています。

RFIDタグはどのように拡売していきたいですか?

販売するのはIoT市場とおおむね被っています。RFIDタグは機能や大きさなど種類が膨大で、お客様は要望が一番適したタグを選んで使っています。当社はどんなタグでも保護できるので、ランナップ拡充やカスタムメイド対応など臨機応変に対応していきたいです。拡売に向けて営業メンバーの知識向上と営業力強化も進めていきたいですね。

技術担当より

生産本部白河第二工場副工場長
兼 生産本部事業推進部通信グループ長
野上 悟



今までのゴムで基板を保護する方法とは何が違う?

今までは基板にシリコンを被覆させるだけの保護で、カバーとしての形状や意匠は一切ありませんでした。当社は自由な形状で、着色も簡単にできるので保護しながら完成品にできるところが、今までとは大きく違うところかなと思っています。

やわらか保護カバーを開発する上で苦労していることは?

今までは頂いた図面をもとに製品をつくるが多かったですが、カバーの設計に加えて品質保証も求められます。多岐にわたる要求事項に応じたゴム材料のチョイスや工法の設計も必要となり苦労はありますが、やりがいも感じています。また、分子接着接合技術は繊細な管理が必要で、それを制御できるノウハウがあり安定した品質のものを供給できるのは朝日ラバーだけかなと思っています。

お客様とやり取りをするときに気を付けていることは?

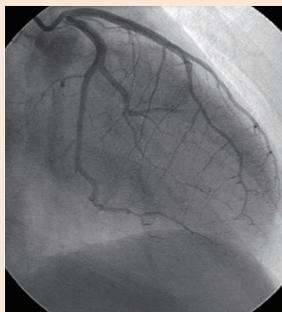
どういう環境でどのように使おうとしているかを詳しく聞くことですね。聞いた内容から想像力を働かせて「耐熱温度はこのぐらい」「ここに取り付けるから大きさは、」といったところを考えながら設計し、その内容をお客様にも提案しています。

今後の展望

通信技術を取り扱う業界には、センサ単品、RFIDを読み取る機械、支援システムといった多種多様な製品やサービスを取り扱う企業が存在しています。そのような企業と繋がリコラボレーションしながら、さらなる製品の拡売を目指します。

新たに開発した「CATレーナー」とは？ 分かりにくいに着目した新たなツール

心臓をX線で撮影すると、心臓を取り巻く3種の血管は画像のように表示されます。撮影する角度も様々で、立体感のない白黒表示のため、血管の位置を教えること・学ぶことに難しさを感じていました。



心臓のX線撮影画像
(提供:国際医療看護福祉大学校)

「CATレーナー」はこれらの血管を正しく配置した3Dモデルです。血管ごとに色分けされたモデルを見ることで、様々な角度から撮影されたX線撮影画像からどの血管がどの位置にあるかを正しく識別することができます。

製品の開発では国際医療看護福祉大学校から学生用教材のニーズ発信がきっかけで産学での取り組みが始まり、製品化を実現しました。2023年8月には教育ツールとして同校に採用されました。



株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	11,500,000株
発行済株式の総数	4,618,520株
株主数	3,222名

大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	(株) 持株数	(%) 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.4%
佐藤 尚美	228,700	5.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.8%
朝日ラバー従業員持株会	218,528	4.8%
株式会社東邦銀行	207,400	4.5%
朝日ラバー共栄持株会	202,700	4.4%
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3%
横山 林吉	140,260	3.1%
第一生命保険株式会社	78,000	1.7%
亀本 尚志	70,000	1.5%

※1 持株比率は自己株式(25,176株)を控除して計算しております。

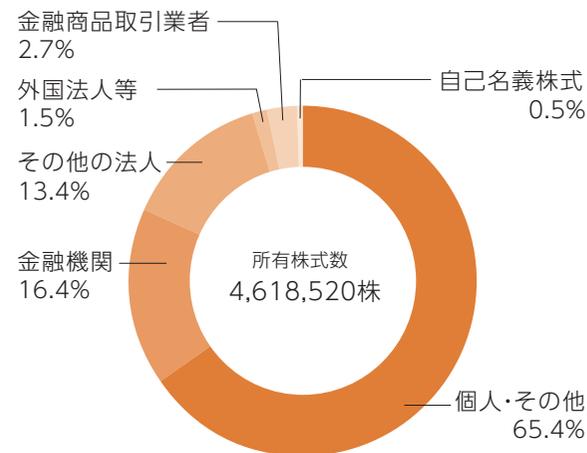
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることのできない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、上記テレホンセンターにお電話ください。

所有者別株式の分布状況 (2023年9月30日現在)



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) https://www.asahi-rubber.co.jp/	
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2	
設立	1976年6月(創業1970年5月)	
資本金	5億1,687万円	
証券コード	東証スタンダード市場 5162	
正社員数	322名	
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売	
主な事業所	本社:埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所/名古屋営業所/福島工場/ 第二福島工場/白河工場/白河第二工場	
役員	代表取締役社長	渡邊 陽一郎
	取締役	田崎 益次
	取締役	滝田 充
	取締役(監査等委員)	高木 和久
	取締役(監査等委員)(社外)	馬場 正治
	取締役(監査等委員)(社外)	筑紫 勝磨

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。
Easy to read universal design
fonts that are used.

